

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	毛巣洞の手術法に関する検討
当院の研究責任者 (所属)	柳 輝希 (琉球大学大学院医学研究科皮膚科学講座)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	<p>毛巣洞では、機械的に毛の先端が皮内に刺さり、その部位で肉芽組織や、毛包とみられる扁平上皮に囲まれた瘻孔を形成します。感染を繰り返しながら増大傾向を示します。殿部に多毛傾向のある若い男性の仙骨部に好発します。</p> <p>治療としては、瘢痕部分を含めてすべて切除するのが基本であり、本邦ではこれまで毛巣洞に対する根治的治療として、単純切除・皮弁形成術が行われています。一方、海外の治療ガイドラインでは、液状フェノールを用いた毛巣洞治療が広く行われています。本研究では、フェノール法と切除術（単純切除・皮弁形成術）の治療成績・入院期間などを比較し、毛巣洞に対するよりよい手術法を検討します。</p>
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2026年3月31日
調査データ(該当期間)	2011年4月～2025年7月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 2011年4月～2025年7月までの間に琉球大学病院皮膚科で手術治療を受けた毛巣洞の患者さま。</p> <p>●利用する試料・情報 研究対象者の背景情報（年齢、性別、初診日、診断日、最終受診日、診断名、発症時期・病歴、治療歴）、手術関連情報（手術法、麻酔、病変の大きさ、部位、治療法）、入院有無・周術期入院期間、再発の有無・術後再発までの期間（日数）、術後外来通院日数と期間、病理組織学的検査結果、画像検査結果（エコー、CT、MRI）、周術期合併症、二次治療の有無。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	提供予定なし。
試料・情報の二次利用	この研究で取得した情報は別の新たな研究に利用する可能性があります。その場合は、再度、琉球大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審

	<p>査委員会および機関の長の承認を得た上で利用します。また、計画の概要について皮膚科学教室のホームページに掲示し、対象者もしくは代諾者から使用中止の申し出があった場合には使用しません。</p>
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査により得られた研究対象者の情報を扱う際は、個人IDとは関係のない番号を付して匿名化し皮膚科学講座で管理。</li> <li>・匿名化したデータは対応表を用いて照合できるようにします。</li> <li>・論文作成時、または学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。</li> <li>・収集したデータは専用のパソコン（本研究のみに使用する）に記録し、パソコンにはパスワードを設定し、研究関係者以外は開けないようにします。パソコンと対応表は皮膚科学講座の鍵のかかる場所に別々に保管します。</li> <li>・個人情報管理責任者は皮膚科学講座・技術専門職員 仲村綾子とします。</li> <li>・同意の範囲外において情報の利用を行いません。</li> </ul>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究では、研究資金を使用しません。 開示が必要な利益相反はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>電話：098-894-5450 担当者：柳 輝希（皮膚科）</p>
備考	